



2004年度  
(社)浜松青年会議所 スローガン

新年号

夢への情熱で改新しよう!  
自身を、組織を、そして地域を

JC広報magazine

**Dreamer**



2004年1月1日発行(年6回発行予定)  
発行/社団法人浜松青年会議所  
編集/広報委員会

<http://www.hamamatsujc.jp/>

## 理事長年頭所感



2004年度  
第54期 理事長  
内田 浩幸

新年明けましておめでとうございます。旧年中は当会議所に対して多大なご支援とご協力を頂き、誠にありがとうございました。また、会員の皆様には今年も無事新しい年を迎えることができましたこととお慶び申し上げます。

2004年度社団法人浜松青年会議所は、「夢への情熱で改新しよう!自身を、組織を、そして地域を」をスローガンに活動してまいります。

2001年に浜松JC運動指針を策定してから3年の歳月が過ぎ、私たちの進むべき方向性の確認及び検討を行いたいと思います。そして私たちの組織内部の諸規定も見直し、私たちがより活動しやすい環境を整えてまいります。

青少年育成事業としては、「はままつ少年の船」を2004年度も実施することは勿論、学校週5日制になった現在、単発の事業だけでなく長期にわたり子供たちに携わる事業を企画します。また、家庭に帰れば私たちの世代は子供に対して教育する立場にあります。家庭における教育の重要性を再認識できる事業を行います。

まちづくり事業では、浜松市の形態が大きく変わろうとしている今、私たちは2003年の方針を踏襲し、政令指定都市への移行を支援します。また、政令指定都市の権利と義務を考慮した上でランドデザインの作成を行います。そこへ「スローサエティ」などの「スロー」をキーワードとする価値観を研究し、良い点は取り入れ、さらにNPO・各種団体の特色を活かしながら、新しい「明るい豊かな社会」を目指します。

そして私たち会員個人のスキルアップを目指して、大きく分けて2つの研修事業を開催します。一つは、2000年代運動指針の中でも機軸と考えられている「人間力」についての研修です。この研修を通して身に着けた人間力によって、今後地域においても活躍できる人材の育成を目的にしています。もう一つは「ビジネス」に関わる研修です。私たちの活動の基盤であるメンバーが所属する企業が元気でなくては、私たちは十分な活動ができません。研修によって個々のマネジメント能力が向上し、各企業にとってもプラスとなることを目的とします。

また、私たちのメンバーである田原育宏君が日本JCの副会頭として出向します。副会頭をサポートすると同時に、日本JCの新鮮な情報をキャッチし、手法を学ぶ良いチャンスと捉え活動します。

この他にも広報業務の強化や会計方法の研究など、様々な改新にも取り組んでいきます。引き続き、当会議所に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。そして本年が皆様にとりまして更なる飛躍の年になりますよう心からお祈り申し上げます。



## 副理事長・専務理事あいさつ



副理事長  
稲川 洋

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

今年は、浜松デザイン室を担当させて頂きます。浜松デザイン室は、浜松デザイン委員会・NPO関係委員会・スローソサエティ研究委員会の3委員会からなり、浜松の過去、現在、未来を研究して模索、提案していく、わがまち浜松をもっともっと知ることができる素晴らしい委員会構成となっています。9月には、

全体事業を企画運営致します。皆様に発表できる良い機会ですので、楽しみにお待ちしております。

それでは、今年も1年間よろしくお願い致します。



副理事長  
内山智一郎

新年明けましておめでとうございます。本年内田理事長のもと、副理事長という大役を仰せ付けられました内山智一郎と申します。どうか一年間宜しくお願い致します。昨年は皆様のご協力のもと、東海地区主管という大事な役目を果たすことができました。本当に感謝申し上げます。本年は全体事業でもある少年の船を中心に、青少年育成事業全般を担当させて頂くことになりました。与えられたテーマ

に対し、しっかりと計画を立て、一つ一つの事業を大成功に導きたいと思っております。また、全体を通して内田理事長を全力でサポートしていき、自分自身も自己改新をめざして頑張りぬく所存でございます。本年も皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶にかえさせて頂きます。



副理事長  
間淵 知幸

新年明けましておめでとうございます。本年(社)浜松青年会議所は、内田理事長のもと、「スロー」をキーワードに提唱されている新しい価値観の研究を始め、合併問題を含め大きく変化しようとしている浜松の将来あるべき姿の提案、長年継続されている青少年育成事業等々、JC運動に全力で取り組みながら様々な角度からまちづくりに携わって参ります。

40歳迄のこの青年期に、志を同じうする仲間と夢を共にし、ロマンを語り、自分が自分らしく生きていける礎を築く1年にしたいと考えております。

微力ではありますが、精一杯副理事長の職務を務め上げる所存でございますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



副理事長  
伊藤 哲宏

新年明けましておめでとうございます。本年度は、出向交流・渉外・日本JC関係の3委員会構成されています『会員サポート室』の担当副理事長を拝命いたしました。各委員会活動は、大変内容が濃くとも書ききれませんので主だった活動内容を記載します。まずは、塩澤委員長率いる出向交流の新年賀詞交歓会に始まり、鈴木猛立委員長率いる渉外委員会の京都会議がございます。

そして、とうかい号・とうかいGTS・アスパック・サマコン・全国大会・世界会議・ブロック会員会議所会議など年がら年中スケジュールは、超目白押しです。それらの諸会議には、日本JC関係委員会が必ず存在します。浜松JC初の副会頭を全力で支援する委員会それが小杉委員長率いる日本JC関係委員会です。このように多忙な室を束ねる申担当室長がしっかりと各委員会をサポートします。

皆さんどうか一年間お付き合いの程、宜しく願い申し上げます。



副理事長  
西山 恭矢

新春のおよろこびを申し上げます。本年度副理事長を仰せ付けられました西山恭矢です。今年1年内田理事長の下、副理事長という重責をしっかりと受け止めJC活動に邁進して参ります。本年度は「中期ビジョン策定室」と「総務室」の2室4委員会を担当させて頂きます。両室長と4名の委員長と共に力を合わせ、浜松JCが今まで以上に素晴らしい組織となるよう活動を展開して参ります。

本年度キャビネットの中では一番年下でまだまだ経験不足ではありますが、H10年の入会以来経験させて頂いた様々な事柄を十分に生かし「情熱」を持って精一杯頑張って参ります。皆様、1年間どうぞ宜しくお願いします。



専務理事  
後藤 明

2004年度専務理事を務めさせて頂きたく思います。JC歴は今年で6年目と歴代専務と比べましても浅いので、至らない点も多々あるかと思いますが、これから1年何卒よろしくお願い致します。

2004年度は「夢への情熱で改新しよう！自身を、組織を、そして地域を」のスローガンの下に、小さな事でも気付いた事は変えていきたいと思っております。担当の財務委員会、事務局の職務に関しては、昨年の準備期間から上程書、予算書、決算書のフォームの改定等、小さな事ながらも改新を進めており、これからは進めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

## 事業案内

### トピックス

### 2004 新年賀詞交歓会

出向交流委員会担当

新年の恒例事業「新年賀詞交歓会」が1月5日(月)グランドホテル浜松「鳳中の間」にて行われます。当日は北脇市長をはじめ国会議員やマスコミ関係者、近隣LOMのメンバー、浜松JCの諸先輩方等多くの方々をお迎えします。新生「内田丸」の輝かしい出航を盛り上げる為、メンバーにはぜひ多くの出席をお願い致します。

場所 ● グランドホテル浜松「鳳中の間」

日時 ● 1月5日(月) 17:30~受付開始(メンバーは16:00集合)

※JCメンバーは当日、男性はブラックスーツ+ホワイトシャツ+赤系のネクタイ  
女性はスーツ or 着物等の正装。メンバーは必ずJCバッジ・ネームプレートを着用して下さい。



### ごあんない

### 1月~3月の開催事業予定

日時	場所	時間
1月11日(日) 入会希望者1泊オリエンテーション 1月12日(月・祝)	浜松サゴイン	9:30~
1月12日(月・祝) 20歳の献血	JR浜松駅北口広場(遠鉄百貨店との間)	10:00~16:00
1月21日(水) 早朝オリエンテーション	グランドホテル浜松「桃山の間」	5:30~7:30
1月22日(木) 京都会議 ~25日(日)	京都国際会館をはじめ 京都市内各所	24日(土) セミナー 13:00~17:00 LOMナイト 19:00~21:00(受付18:30) 25日(日) 新年式典 9:00~
1月29日(木) 第1回定時総会	グランドホテル浜松「孔雀の間」	19:00~21:00
2月 1日(日) 第1回会員会議所会議・出向者合同会議	熱海後楽園ホテル	9:30~17:00(懇親会 17:15~20:45)
2月 7日(土) 少年の船TLオリエンテーション	可美公園総合センター	19:00~21:00
2月12日(木) 委員会事業「人間力実践プログラム」	グランドホテル浜松「孔雀の間」	19:00~21:30
2月21日(土) 少年の船TL・スタッフ合同オリエンテーション	浜松市福祉交流センター	19:00~21:00
2月26日(木) 会員例会(浜松デザイン委員会)	グランドホテル浜松「孔雀の間」	19:00~21:00
3月 4日(木) 会員例会(入会式)	グランドホテル浜松「孔雀の間」	19:00~21:00
3月 6日(土) 少年の船全体オリエンテーション・結団式	可美公園総合センター 体育館	14:00~16:00
3月23日(火) 2004はままつ少年の船 ~25日(木)	航路...御前崎港~東京湾周遊~遠州灘沖~御前崎港 チャーター船...「ふじ丸」(日本チャータークルーズ株式会社 23,340トン)	

### PICK UP

## 2004はままつ少年の船 3月23日(火)~25日(木)

新年明けましておめでとうございます。青少年育成委員会委員長の良知清志です。本年度も旧年同様宜しくお願い申し上げます。

【2004はままつ少年の船】が3月23日(火)~25日(木)に出航します。今年第14船を迎え、御前崎港を出航して東京湾を周遊し、遠州灘沖から私たちのまち浜松を眺めながら御前崎港に帰航します。【輝く未来のために、つなごう心の絆を！】というスローガンのもと、ひとづくりとまちづくりの研修を行ってまいります。ひとづくりセミナーでは、「思いやりの心」「人と人の絆」「夢に向かって挑戦する勇気」の大切さを学びます。さらにまちづくりセミナーでは、「仲間と力を合わせればどんなに困難な事でもやりとげられる」ということを実際に経験するために、未来の浜松について考えます。子供たちが研修を通して一回り大きく成長し、笑顔で下船してくれることを期待しております。過去の事業に負けない事業にしたいと決意を新たにしていますので、皆様方の多大なるバックアップをお願いいたします。





浜松を世界に誇れる街にするという夢。それを実現するにはどのようなプランが必要でしょうか。  
北脇市長と内田理事長に語り合っていました。



## ～合併問題が進む中で～

**内田**●青年会議所（以下J C）は1年任期ということもありますが、来年は合併とか政令指定都市に移行していくタイミングにあって、お手伝いしていくことがあればどんどんしていきたいと思っています。

**北脇市長（以下市長）**●そうですね。今年も合併や政令指定都市についても積極的に取り組んでいただけたし、アンケートも提出いただきましたし、そうしたいろいろと協力いただきましたことが、一步一步前に進んでいます。

**内田**●2004年度の基本計画書にも書いてあるのですが、合併することを大前提として進めていく中で、次の段階である政令指定都市に移行していったら、浜松がどういう方向性を持っていくかということも考えています。2004年度日本J C会頭が「スローサエティの実現」を提唱していますので、その研究をすると同時に将来をにらんで、スローサエティの考え方を加えながら、まちのランドデザインを考えていきたいと思っています。

**市長**●合併のほうもこれから新しい市をどんな市にするかという議論が非常に大事になっていきます。その部分でもいろいろな意見を出していただきたいと思えます。

**内田**●今浜松J Cから内山智一朗君が市民代表者会議に出向させていただき、いろいろな方から意見が出ていて、びっくりしたと…

**市長**●そうですね。いろいろ一言ある人が集まっていますからね。

**内田**●その中で浜松J Cはこんなふうを考えていますよ、ということを示しているかと思っています。

**市長**●今のスローサエティというのは、もともとスローフードということから始まってきていると思うのですが、スローライフとか段々概念が広がってつづいてくると思いますが、今必要なことある角度から光を当てているという意味はあると思えます。私の考え方では、それをあらゆることに広めてしまうということにちょっと無理があると思えます。片方は競争原理に基づいてスピードで勝負していかなければならないという経済社会の実態がありますよね。それを否定するかという決してそういうわけではないですよ。

**内田**●そうですね。私達自身が経営者などの立場の人間が多いですが、その私達がスローしかやらないというのは、自身の存在自体も否定するようなことになります。目標としてのスローをする為のファーストな動き、競争社会というのは必要な部分であって、すべてをスローにということでは決してないです。

**市長**●そのへんだね。おもしろい概念であることは間違いないことだけど、どういうふうにするか今の実態にあった扱いをしていくかというところにいろいろと工夫が必要かな？

**内田**●本当にそうですね。スロースローと言っているとそれだけで大丈夫かなって誤解を受けてしまいますよね。私達はみんな競争社

会の中で頑張っている人間なので、決してそういう意味ではないということです。

**市長**●新年度もまたいろいろと充実した活動をするように期待しています。

**内田**●精一杯頑張ります。

## ～合併に関して青年会議所の動きは？～

**市長**●合併に関して、近隣のJ C（天竜、浜北、浜名湖）と統合していくこととか考えていますか？

**内田**●来年の浜松J Cの組織の中に「中期ビジョン策定会議」を設けて、その中で中期のビジョンとして私達がどういうふうに進んでいこうかと考えています。たとえばJ Cの全国大会を誘致したり、もっと身近に考えれば、天竜、浜北、あと浜名湖は少し微妙なところですが、統合もしくは合併が、私達のひとつの検討課題であるということに間違いはないです。来年はその会議体で大活躍していただいて、近隣のJ Cにアクションを起こして合併協議会を立ち上げていこうと、来年組織の変革をする部分で考えていきたいと思えます。

**市長**●そうですね。非常に大事な時期にいますよね。

**内田**●今ちょうど、新居町と湖西市が浜名湖J Cとして固まっています。この間は湖西市が抜け、新居町が抜けてJ C的にはきれいに割れたところがあったのですが、合併推進派の町長が選出されたので新居がどうなるか微妙な感じです。浜松J Cというより、まず浜名湖J C内でどのような形になっていくかが問題です。複雑ですが今後浜松J Cとしても取り組まなければいけない問題であることには間違いはないですね。

## ～浜松のまちについて～

**市長**●来年は浜名湖花博もありますので、これもいろいろと活用していかなければならないですね。会議という点では、経済同友会も浜松で全国会議をやるとか、できればいろいろな会議をここでやってもらおうというでしょうね。J Cの場合は今からというのは難しいかもしれないですが…

**内田**●日本J Cに生花園芸部会というのがありまして、生花店など園芸関係の業種の人々が集まっている部会があるんですが、そちらの会議を花博でやろうかな、ということをお聞きしました。

**市長**●それはいいですね。是非やって下さい。

**内田**●間違いなく視察は来るのですが、そこでそういう会議をやるかどうかというところまでははっきり決まっていなようです。

**市長**●とかく浜松という地域は発信という点では、今まで弱かったというか、とにかくものづくりの街でいいものを作って売る、いいものを作れば売れるんだということがあったから、地域そのものとしてそれを売り出していく指向があまり強くなかったんですね。ちょうど、浜名湖花博という絶好の機会がありますから、地域自体を売り出していくことをやっていきたいです。

**内田**●国際ピアノコンクールもそういう位置付けでいうと、東京経由でなくて直世界へというような感じですね。

**市長**●そうですね。今回第5回はちょっとブレイクしたというか、毎日ホールがほとんど満席状態で、最後の本選は朝から並んでいる人がいたり、すごい熱気がありました。中村紘子さん始め、審査員の方も、世界のトップクラスのショパンとかチャイコフスキーコンクールと肩を並べているというように評価してくれています。

**内田**●世界中のピアニストが「浜松」という街を言ってくれたら嬉しいですね。

**市長**●5回目ということで、一段上がったという感じはしますね。

これはもっと広げていかなければならないですね。前回優勝したガブリリユクさんが今回また記念演奏会をやりました。ピアノコンクールの審査員の前で演奏して、すごいという再評価、再認識をされました。彼がこれからスーパースター、例えばアルゲリッチとかボリーニとかのクラスに育っていけば、浜松国際ピアノコンクールの評価はそれだけでもものすごく高くなっていきますよ。それだけの逸材なので期待しています。

**内田**●浜松に住んでいる誰もがそのガブリリユクさんというピアニストを知っている存在になってほしいですね。例えば鹿児島へ行ったら西郷さんのことをみんな知っているような…

**市長**●そうですね（笑）

**内田**●浜松に住んでいる私達の中でも、国際ピアノコンクールの評価が段々上がっているんだという認識はあるけれど、その優勝者が誰かというところまではまだ知らないですね。

**市長**●そうですね。浜松のことをちょっと前までは文化不毛の地とか、工業都市で文化的にはいまいちだ、という人もいたのですが、私は間違っていると思えます。もっと、文化性というか潤いという部分に自信をもっているんですよ。街並にしても、東地区の方はだいぶ出来てきたし、シンボルロードに木が植えられてきてなんとなく雰囲気も出てきたし、街の中にしても時間をかけて整備してきて、基幹道路にしてもかなりよくなってきて、整然としてきています。外国人を含めて他から来た人は浜松の街ってきれいですねって言いますよ。そういうことももっと自信をもっていると思います。

**内田**●そうですね。私達もいろいろな街に行きますが、浜松はきれいだと思います。商店街という感じではないんですが…

**市長**●それは弱いですが…

**内田**●それが本来どういう形になっていくべきなのかというのは別の捉え方として…

**市長**●これから、ということもあるし、何にしても自分達のまちの良さを再認識する、ストレートに認めていってもいいのではないかなという感じではありますね。いろいろ厳しい目で見ても、あれがいけないと批判的に見ることもすごく大事ですが、その一方でいいところを認めて自慢するような気持ちも大事ではないかなと思います。

**内田**●もちろん、私達も浜松が好きなので、外に行った時にはもっとPRするようにします。

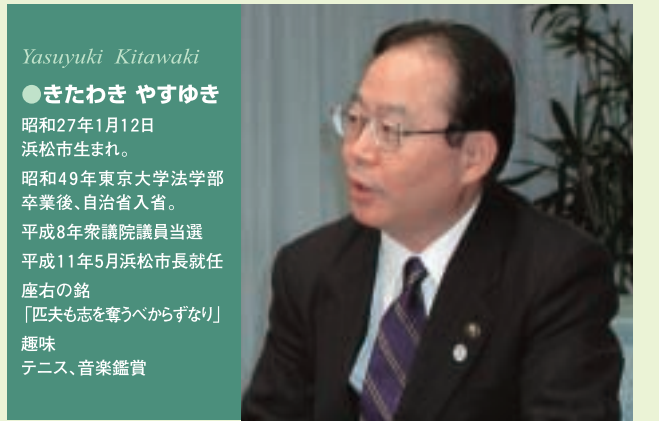
**市長**●そうですね。PRというのはいいイメージを自慢みたいなものなので、そもそもいい街なんだって心底思っていなかったら、外に行ってもPRもしなくなっちゃうから、それが大事なことだと思います。

**内田**●そうですね。紙面とか放送のPRも大事ですが、口伝えて、みんなが浜松から来た大使だというような、浜松のいいところを全国に言って歩けば、より良い街になるのではないかなと思います。

## ～来年のスローガンについて～

**内田**●来年のスローガンとしては、「夢への情熱で改新しよう、自身を、組織を、そして地域を」を掲げていきます。私達は当然夢を持って浜松J Cに入会したのですが、それを実現する為に、組織の問題があって夢を実現できないのなら、組織を変えて自分が望む方向に変えて行こう、そして地域としても愛する浜松をよりよい地域へ変えていく為にはまず自分が変わろう、というところから取り組んでいます。青少年育成事業として、来年も「少年の船」の事業を予定しています。それとは別に、もう少し長いスパンで子供達と付き合えるような事業も計画しております。直接ではなく、間に地域の高校生を挟んで、何かできたらと考えています。

**市長**●教育の面に関しては、J Cのメンバーの皆さんは、まさに現



Yasuyuki Kitawaki

●きたわき やすゆき

昭和27年1月12日  
浜松市生まれ。  
昭和49年東京大学法学部  
卒業後、自治省入省。  
平成8年衆議院議員当選  
平成11年5月浜松市長就任  
座右の銘  
「匹夫も志を奪うべからずなり」  
趣味  
テニス、音楽鑑賞

役の子育て中の親です。そういう立場から行動したり、発言したりしたらいいと思えます。

**内田**●はい。来年も家庭の教育委員会を設け、家庭の中で私達がどのような取り組みをしていくか考えていきます。まず5月に講師を招いた公開例会を開催して、その後に家庭の教育委員会で研究していきたいと思っています。

**市長**●今、子供達が学校でも授業になかなか集中しないなど20年30年前にはなかった現象が出てきたりしているから、なぜそうなってしまったという深刻な反省もできてきています。ちょうど現役の人達が考えて、どうしたらいいのかということを考えるのと非常に説得力があると思えます。

**内田**●私も一個人に返って何をすべきか考えて、行動するように頑張ります。

## ～副会頭輩出について～

**内田**●来年浜松J Cの田原宏君が日本J Cの副会頭に就任するため、直に日本J Cからの方向性がすぐに伝わってきます。また、逆に浜松から日本はどうなっているのかもわかりますので、何かあれば私達も提言していきたいと思えます。アドバイスがあれば宜しくお願いたします。

**市長**●こちらこそ宜しくお願いたします。それだけ浜松J Cの実力が評価されていることだと思いますので、名誉なことだと思います。

**内田**●副会頭として世界各地を飛び回るので、世界で浜松国際ピアノコンクールの話をしてもらいます。

**市長**●相手がどの程度浜松を知っているのかチェックするのにいい機会だと思います。

**内田**●そういう部分でも私たちがお役に立てるといいですね。

**市長**●来年も宜しくお願いたします。

**内田**●こちらこそお願いたします。



2003年12月1日（月）浜松市役所市長室にて

# あの人は今? ~浜松JCの功労者達~

## 第1回 秋山雅弘先輩

— 浜松JCに在籍、活動しての思い出や役に立っていることなどをインタビューさせていただきました —



### PROFILE

昭和27年4月生まれ(51歳)  
 (株)アルモニコス 代表取締役  
 昭和63年入会、平成4年卒業

的にするか否かは本人次第ですが、「やります」と言ったらJCでなければ経験できなかったことばかりの上、40歳での卒業というJCの決まりから次年度まわしにすることができなかったため、その時に集中することができました。

当時会社を4人で共同経営していた為「JC活動が原因で仕事が減ったら会社を辞めさせられる(追い出される)かもしれない」「業績を伸ばさないことには活動できない」という思いから、仕事の時間を確保するため睡眠時間を減らしてかつ密度を濃くした為、それが功を奏し卒業後も時間が増えた分業績を伸ばすことができました。企業人である以上、JCは言わば「放課後」、JCに対するモチベーションを保つには地域に貢献することが大事であり、その為にはしっかりと仕事を背景にJC活動をする。忙しさを克服するのもひとつのトレーニングだと思います。活動の中では成功も失敗も有りますが、失敗は繰り返さないように、そして成功は何にでも生かすことができる、また自分に返ってくるのです…。

<詳細は浜松青年会議所ホームページをぜひご覧ください。> (文/江間 徹士)

浜松青年会議所(以下JC)に入会と同時に、地域政策委員会への配属で初めて「まちづくり・都市ビジョン・都市プラン」という、仕事とは違うものに触れJC3信条(サービス・トレーニング・フレンドシップ)を肌で感じる事ができました。中でも「サービス(地域へいかに貢献するか)」は強く響くものがありました。2年目の指導力委員会の幹事として「トレーニング」を経験、また日本JCの出向で「JCマガログ」(マガジncatalog)の作成に尽力し「営業」も経験しました。この年に会社では秘書役の女性社員を増員、今まで自分がやっていた仕事の一部を任せられたことにより社員が育ち、その後の女性スタッフの基盤とパワーにつながりました。3年目には豊橋JC主管の全国大会があり、副主管の特別委員長として、豊橋JC・日本JCとの連携やLOM内の取りまとめを行い、入会3年目の委員長としては荷が重く辛かったのですが「フレンドシップ」も揃い楽しさも覚えました。4年目に地球環境室長に就くと同時に東海地区協議会へ出向、「とうかい号」の運営に携わり、台湾・香港の寄港地へ先回りし現地JCと英語でコミュニケーションを取りながら交流・準備を行う中、お酒も強くなりました。そしてラストイヤーには副理事長となる中で日本JCへ出向、NGOとして世界環境会議を主催したことにより、ブラジルにおいて会議の運営を行い「やろうと思えば何でもできる」、またLOMの副理事長という立場から「組織論」も習得できたのです。

卒業して10年以上経ちましたが、JCでの経験は全てに生きています。JC活動は積極



遠州灘の絶景を一望できるアルモニコスのオフィスでのインタビューとなりました。

# 子育てまめ知識

こちらのコーナーでは子どもの心理学に関するちょっとしたまめ知識をご紹介します。



## 人間は早産で生まれてくる!?

われわれの生命は、卵子と精子の受精と同時に始まります。そして、受精卵は、約40週の間人間の形態を整えながら約200万倍という急速な成長をして、人間として誕生することとなるのです。心理学では、誕生から1ヶ月までを新生児期とよびますが、この間に「母体に保護されていた胎児の状態から外気に触れ、新しい環境としての胎外の生活にうまく適応していく基礎がつけられる」と考えられています。すなわち、呼吸・栄養摂取・排泄・温度変化などへの適応といういわば胎外環境で生きていくための最も基礎的な適応力が獲得されるのです。

新生児期を過ぎて子どもが1歳半になるまでの期間を乳児期といいますが、この時期の最も大きな発達の変化は、ヒトという種族特有の「直立歩行」と「言語」を獲得することです。新生児はまぎれもなくヒトの赤ん坊でありながら、ヒトのもつ機能的・文化的特性を何一つそなえていないのです。それが、1歳半ごろには直立歩行ができ片言をしゃべり始めるようになります。

心理学の一説では、このような新生次期から乳児期にかけての1年間は発達的に特殊な位置にあるとしています。すなわち、人間の誕生時の状態は一種の「生理的早産」の状態であり、それ以降のほぼ1年間は胎外胎生期ともいべき次期にあたるというのです。一般に、高等な哺乳類は、胎内での体組織や神経系の発達が早く、生まれた時には感覚器官が機能し、親とほぼ同じように行動でき、その種特有のコミュニケーション手段の要素を持っています。しかし、人間の新生児には、他の高等哺乳類にみられる発育の状態がみられません。生後1年経って、ようやく直立歩行とコミュニケーション手段の要素ができあがり、他の哺乳類が生まれた時に実現している状態にたどりつきます。人間は一種の「生理的早産」の状態生まれ、それ以後の1年間は「典型的な高等哺乳類の誕生段階にまで人間の子どもの成長する時期」と位置づけられているのです。

また、人間がこのような生理的早産の状況で生まれるということには発達的に重要な意味があります。つまり、人間は生まれて以後の発達に可塑性を持っているのです。他の哺乳類の子どものは、生まれた時すでに親と同じ行動をとるための脳の機能ができ上がってしまっているのに対して、あまりでき上がっていない脳をもって生まれてくる人間の子どものは、時間をかけて適応的な脳をつくり上げていく可能性を秘めています。生まれて以後の刺激や経験によって、大部分の行動が形成されていくのが人間の特色であるといえるのでしょうか。 「児童心理学」より

文/大石 江理

HAMAMATSU JC  
 広報magazine

Dreamer



## 編集後記

「Dreamer」・・・直訳すると夢見る人という意味です。

この「Dreamer」を読んでいただくおひとりひとりが、各々の夢に向かって邁進するDreamerであって欲しい、そんな願いを込めて名づけました。一年間明るく夢のある広報magazineをお届けしていきたいと思ひます。

さて、新年号はいかがでしたか?

素人が作る広報magazine。確かに問題は山積みでした。赤ペンだらけの校正に、戸惑いがいっぱい新年号でした。まずは国語力から勉強し直しですね(笑)

新しい年に向けて熱い抱負を語ってくれた内田理事長。JC活動にも多大なご理解を示して下さった北脇市長。お忙しい中快く取材を引き受けていただいた秋山先輩。これからもこの広報magazineを通じて素敵なDreamerに会えることを楽しみに、スタッフ一同頑張ります。

一年間6回にわたって、明るく夢のある広報magazineをお届けしたいと思ひます。

どうぞ宜しくお願いいたします。

広報委員長 山下 里栄子

【2004 広報委員会編集スタッフ】

広報委員長 山下 里栄子

副委員長 小池 宏明 竹内 一

幹事 大石 江理 嶋津 昌弘

委員 江間 徹士 折山 哲康

河村 浩利 久保田 賢

〒432-8036  
 浜松市東伊場1-3-1 グランドホテル浜松 内  
 社団法人 浜松青年会議所

tel.053-454-6721  
 fax.053-455-3563

URL  
<http://www.hamamatsujc.jp/>

E-mail  
[room@hamamatsujc.jp](mailto:room@hamamatsujc.jp)

## 広報委員会がおすすめるホームページサイト

### 私の風邪・インフルエンザ対策

<http://www.ne.jp/asahi/web/oki/health/infuleenza2001.html>

「体は大事だよ〜♪ うう〜う♪ うう〜う♪」てな訳で、この時期、寒さも厳しくなり風邪引きさんが増えてきます。そこで風邪の予防と治し方のヒントのサイトを紹介します〜。



推薦/折山 哲康

# ご結婚おめでとうございます



大石 祥浩君 H15入会  
江理君 H15入会  
(旧姓：北村)  
平成15年11月1日結婚



山崎 貴裕君 H13入会  
富美子さん  
(旧姓：内山)  
平成15年11月3日結婚



武藤 剛先輩  
いつ子先輩  
(旧姓：藤田)  
平成15年11月15日結婚



稲川 洋君 H6入会  
詠子さん  
(旧姓：古山)  
平成15年12月14日結婚



# ご出産おめでとうございます



★池谷 亮磨くん  
平成15年6月13日生まれ  
池谷友伯夫妻の長男 (H12入会)

★藤田 将乃助くん  
平成15年10月23日生まれ  
藤田将徳夫妻の長男 (H14入会)

★岡島 和真くん  
平成15年10月29日生まれ  
岡島英樹夫妻の次男 (H13入会)

★川口 直哉くん  
平成15年11月4日生まれ  
川口祐智夫妻の次男 (H15入会)  
担当/竹内 一

## クロスワードパズル

■ のマスの文字を並べ換えて 答えの言葉を作ってください。

### ●よこのキー

- 1 復帰第1戦はオーストラリアか?
- 6 BSEといえば
- 7 イチロー、佐々木といえば
- 8 アフリカ産はクロコダイル
- 9 去年はウイルスにやられました
- 10 堤真一、八島智人、高橋克美の共通項は〇〇出身
- 12 浜松のゴールデンウィークといえば
- 13 お皿が割れちゃった
- 15 縁付きの帽子を英語で言うと
- 16 木耳
- 17 〇〇安全
- 18 S、M、L、LL
- 19 只をくずしていうと
- 20 プロゴルファー西川哲の奥さん
- 21 ハワイの弦楽器といえば
- 22 桃山文化は〇〇絢爛

答えはホームページにて

### ●たてのキー

- 1 夏の一大イベントin横浜
- 2 毛糸を買うなら
- 3 虫さされには〇〇コーワ
- 4 狙いをさだめて
- 5 京都の鍵善といえば
- 6 輸入物も増えていますが出産がやばり北海道産でしょ
- 8 青少年育成委員会の担当です
- 11 正月からの練習はつらいです
- 12 去年はビッグ、今年はリトルが話題独占か?
- 14 トルコの通貨はトルコ〇〇
- 15 今年の浜松の一大イベントです
- 16 バラ科の植物でジャムやケーキに使われます
- 17 働きすぎです
- 18 合格したら「桜〇〇」
- 20 最近の子供たちが〇〇やすいのは食べ物のせいともいわれています
- 23 コーヒー豆の種類で、イエメンやエチオピアが産地です

ヒント はりきる人も、ゆううつな人もいます。

1	2	3	4	5		6	
7						8	
9			10				11
		12				13	14
	15				16		
17				18			
19			20				23
21					22		

作成/久保田 賢

### ～(社)浜松青年会議所ホームページリニューアルのお知らせ～

2004年1月1日より浜松青年会議所のホームページが新しくなりました。前年度情報委員会のホームページに負けないよう、内容もボリュームアップしています。NEWSの項目の中にある広報室のコーナーでは上記のクロスワードパズルの解答や委員会メンバーが趣向をこらした連載コラム等を掲載しています。タイムリーな情報提供プラスみなさんが気軽に訪れることができるようなサイト作りを広報委員会全員でがんばって作成していきますので、ぜひ見に来てください。

アドレスが変更になっていますので御注意ください。 <http://www.hamamatsujc.jp/>

担当/小池 宏明

